

立地・施設について



京都市南区東九条中殿田町16-2



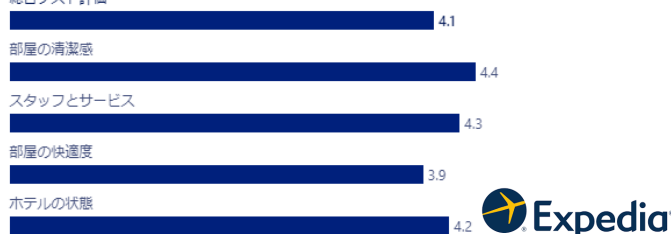
えびす旅館は京都駅から徒歩7分ほどの便利な立地ながら、閑静で落ち着いた通りに面しております。JR/新幹線八条口からは、近鉄名店街「みやこみち」をどおり通り抜け、大通りに出てください。そこから当館は徒歩数分ですので、雨天や大きなスーツケースをお持ちの旅行の際も便利です。

平成27年新築、客室数は9室（最大宿泊人数27名）、外国人（インバウンド）向けの、食事の提供を行わない、ホステル型の小規模宿泊特化型施設です。

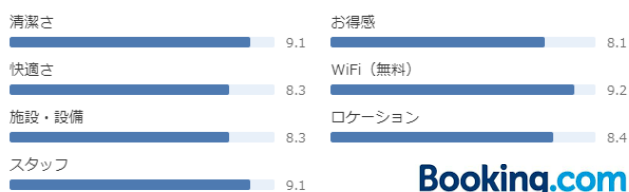


宿泊ブッキングサイトでも高評価の宿泊施設です

総合ゲスト評価



8.6 すばらしい・クチコミ577件 ↓



体制・運営について

開業以来運営を行ってきた株式会社グローバルネットワークと、業務引継ぎを前提とした委託契約を締結し、1年から1年半の移行期間を経て自社運営とします。（予定）

グローバルネットワーク社の持つ外国人人材、施設運営のノウハウに、当社のWEBマーケティング力、旅行会社としてのクルーズや他旅行との併売チャネル等を加えることで、さらなる業績の拡大に努めてまいります。

外国人に限らず、日本のお客様の集客も同時に強化してまいります。

業績について

ホテル事業としては、開業から3年間、順調に安定的な収益をあげ、黒字を達成しております。今後、運営・集客の効率化などPMIにより売上、利益を改善、伸ばしていく計画です。

連結対象となりますが、今期連結業績への取り込みについては、取得にかかる費用等もあるため、与える影響は軽微であります。

ベストワンドットコム グループのホテル事業の位置づけ

ベストワンドットコムは、「クルーズ旅行を通じて全てのお客様に初めての感動体験を」を理念に、「クルーズ旅行をもっと身近に もっと手軽に」をミッションに掲げ、クルーズ旅行専門のグローバルOTAを目指しています。

クルーズ市場というニッチトップを目指すために、多言語（グローバル）化、OTA商材の多角化等を計画・実行しております。

日本のクルーズ人口は前年比27%増（国土交通省「2017年の我が国のクルーズ等の動向」）、アジアのクルーズ人口は前年比20%増（CLIA「Asia Cruise Trends 2018」）と、市場規模も着実に成長を続け、足元の業績も堅調に推移しております。

その一方で、当社のノウハウ・アセットを活かせる新規事業への進出についても、グループとしての経営基盤を強化するための重点テーマとして検討してまいりました。

主に、クルーズ、OTA、グローバル（インバウンド）を軸として、トラベル領域でより大きな市場への参入、商品の取り扱いを行ってまいります。

今回のM&Aをきっかけに、グループ内に宿泊施設を所有することで、独自商品開発（ホテル泊付きクルーズツアー）を行うことや、グローバル人材の獲得やインバウンドマーケティングでの協働・ノウハウ共有などを想定しております。

えびす旅館（ホテル事業） 今後の計画

現状のホテル需給及び今後の見通しを考え、ホテル事業について一定の収益性を見込めると判断し、参入を決定いたしました。

部屋数や施設の規模などを慎重に検討し、過大な投資を控えながらも、クルーズ事業とシナジーのある立地への展開を行い収益性を確保していきます。

- ・クルーズと親和性の高い港町立地
- ・適切な投資規模（小～中規模ホテル）
- ・テーマ、コンセプト（京都の「和」「旅館」）

を軸とした展開を計画しております。



※地名は港立地の一例で、予定・確定のものではありません。

免責事項

- ・この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社ベストワンドットコム（以下「当社」）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- ・当資料に掲載された内容は、作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なく変更される可能性があります。
- ・当資料に掲載されている内容は、資料作成時における当社の判断であり、作成にあたり当社は細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性、完全性を保証又は約束するものではなく、内容についていかなる表明・保証を行うものでもありません。

将来見通しに関する注意事項

- ・本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（Forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。
- ・それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。